

まつなみ News

絵の寄贈

平成28年2月1日、患者様・國枝由紀子様のご家族 堀麻紀様より油絵の寄贈をして頂きました。國枝様の絵画は、以前当院(渡り廊下)まつなみギャラリーにて展示会を実施させて頂き、患者様を始め、来院をされた方々や当院職員も足を止めて絵画を鑑賞し、鮮やかな色彩や絵画から伝わる優しさなど、多くの方が感じられていました。

今回、寄贈して頂いた油絵は、松波総合病院 北館6階西病棟のディルームに飾らせて頂きました。もし機会が御座いましたら、お立ち寄りください。



「デフバレーボール」をご存知ですか？

～当院、事務スタッフが出場しました～

「デフバレー」とは聴覚に障がいをもった方々が集まって行うバレーボールのことです。デフバレーは通常6人制バレーと同じコートや用具を用いて行います。ゲーム中は選手が声でやりとりすることが難しいため、足で床をたたいて振動を伝えたり、手を動かして意思の疎通を図ります。今回、岐阜の「鶴女」のチームとして神奈川県川崎とどろきアリーナで行われたデフカップ大会に参加しました。結果はベスト8で、とても有意義な試合でした。

デフバレーボールをたくさんの方に知ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。



平成28年糖尿病教室 春の特別講演

テーマ 「糖尿病って どんな病気？」

【日 時】 2016年5月7日(土)14:00~15:30

【場 所】 松波総合病院 南館1階講堂

【講 師】 松波総合病院 内科 藤澤 太郎 先生

※事前申し込みや参加費は必要ありません。どなたでも気軽にご参加ください。

松波総合病院 生活習慣病管理部

医療関係者の方へ 講演会のお知らせ

第15回 濃尾医療連携セミナー

【日 時】 2016年4月23日(土)16:00~18:00

【場 所】 グランペール岐山

【テーマ】 頸動脈狭窄症と外科治療とステント治療の使い分けとその工夫

【講 師】 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院
脳神経外科部長 澤田 元史 先生

【テーマ】 最大で最強の地域包括ケア病棟

【講 師】 医療法人社団 和楽仁
芳珠記念病院 理事長 仲井 培雄 先生

駐車場・交通のご案内



4
2016 April
No.198

患者さまと病院をつなぐかけはし
まつなみ
[発行] 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

地域全体で
最適な方向へ

急性期から在宅まで
地域医療機関と密な連携・情報共有の強化へ

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

病院長就任のご挨拶

平成28年4月より、社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院の病院長に就任いたしました、松波和寿です。よろしくお願ひいたします。

松波総合病院は、明治35年加納の地に松波英太郎が松波病院を開業したのが始まりです。その後松波賢吾が笠松に移転し、松波英一が松波総合病院へと成長させました。そして平成13年、理事長に松波英寿、病院長に山北宜由先生という体制になり、地域の中核を担う急性期病院へと発展してきました。平成20年には「社会医療法人」、平成24年には「地域医療支援病院」の認定をうけました。平成26年には、新病棟を増設して病床数も500床を超える岐阜県の地域医療構想においても、中核を担う急性期病院として認められる存在になりました。

さらに当院の特筆すべきことは、ICU、HCU、一般病床といった急性期

病床、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟といった目的別の病棟を持ち、なるべく早期の在宅復帰を実現し、地域患者様への最も効果的な治療を可能にするマネジメントを行っていることです。急性期だけの施設ですと、落ち着いた後は他の施設へ移動することになります。これは患者様にとって、あまりありがたくないことだと考えています。やはりある施設に入院し必要な医療が終了、そして退院するときは、元気になってからというのが良いのではないかでしょうか。それが「スーパーケアミックス」であり、まさに地域包括ケアを実現するための施設です。

医療業界は今まさに混沌とし、医療提供者にとって厳しい状況は今後も続きます。幸い、当病院はソフト面・ハード面でも相応の基盤ができています。これを元に今後、更に発展させ、

常に前進、成長をしていきます。

急性期から在宅、介護まで、切れ目のない地域でのケア提供を行うために、連携の先生方とのより密な連携を図り、情報の共有化、地域の全体最適化を目指してまいります。病院という枠ではなく地域全体で最適な方向へ進むよう努力していく所存です。どうぞ宜しくお願いいたします。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院
病院長 松波 和寿



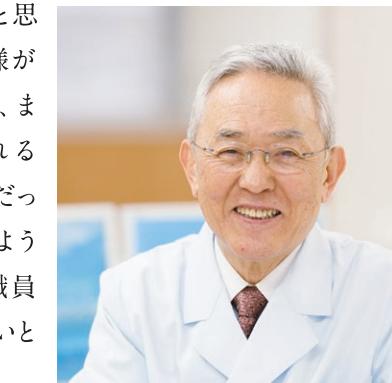
社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院介護老人保健施設

施設長就任の挨拶

陽春の候、心も体もうきうきと動き出したくなるような気がします。老健入所者様は心身共に多くの不自由を抱かえて、生きていくだけでも大変だと思います。この方々にとって大切なことは、まずは日々苦しむことなく過ごせ、周りにおられる方々と自然な心の通いがあり、お孫さんやご家族との逢瀬を得られたら幸せではないでしょうか。

一見何もできない、やる事なんて何もないように思われる方でも、意識がしっかりと話ができるなら、人生経験から生まれた多くの知恵を語り伝える事もできるでしょう。認知症の方なら、どうしてこんなことをなさるのか介護する我々がしっかり勉強して気持ちを理解できれば、その方の心の葛藤を沈めることもできるかもしれません。その事は私たちの生活の中で、人の心の底にあるものを教えて貰っているのではないかと思います。

また一見常識外れに見える人でも、存在する時代と場所が違えば重要な役を果たす事ができるかもしれません。そんな人を受け入れるのは周りに居る人の考え方次第ではないかと思います。介護する我々は常に心を広く持ち、幅広い視点から今起こっている現象を見てその本筋を理解することこそ重要だと思います。



社会医療法人蘇西厚生会
松波総合病院介護老人保健施設
施設長 水田 真敏

集団の中で協調して生きている人類にとって、最も重要なことです。このことは色々な文化を認め世界が平和に生きる知恵に通じると思います。介護をしっかり勉強していけば、近隣の人たちとの付き合い方や組織の中での生き方、考え方につながるものがあると思います。私は介護の世界に身を投じて長くではなく、未熟ではありますが、医療と介護は異なるものであると思います。私自身のこと思い合わせ、利用者様が在宅へ帰られる時、また最期を迎える時、「我が人生幸せだったなあ！」と思えるように、色々な職種の職員共々努力していきたいと存じます。



●写真左・写真中:京都大学大学院人間・環境学研究科 教授 森谷 敏夫先生
●写真右:社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 理事長 松波 英寿

セカンドオピニオン外来・開設のご案内

？ セカンドオピニオン外来の目的

セカンドオピニオン外来では、当院(松波総合病院、まつなみ健康増進クリニックなど)以外で受診をされている患者様に対して、当院の専門医が意見と判断を提供させていただきます。その意見と判断は、患者様の今後の治療などの参考にしていただくことを目的としています。

！ 診療時間と場所について

- 日時 担当医師により異なります。(完全予約制)
- 場所 北館・入退院センター内(相談室)

お問い合わせ先:地域医療介護連携室

TEL 058-388-3360 / FAX 058-388-4867

【平日】8:00~17:00

※土日・祝祭日・年末年始を除きます。
場合によってはお返事に時間がかかる場合がございます。ご了承ください。

夜尿外来・開設のご案内

4月より夜尿症外来を開設いたします。夜尿症でお悩みの際は、一度ご相談ください。

- まつなみ健康増進クリニック
小児科外来

- 毎週火曜日 午後 / 受付時間 14:00~16:30 診察時間 14:30~17:00
- 担当 / 吉田 茂 先生

「第2回羽島郡健康増進プログラム」を開催しました。

平成28年3月13日(日)13時より「羽島郡健康増進プログラム」の第二回イベント(講演会)が岐南町役場隣中央公民館講堂にて開催され、近隣住民の方々約100人が参加致しました。「羽島郡健康増進プログラム」とは、岐南町と笠松町のかかりつけ医を受診している40歳以上の方で、医師から運動をした方がよいと思われる方に活動量計をつけていただき、医師が「運動処方箋」を処方することによってその健康効果を検証するというもので、去年12月から羽島郡医師会が中心となって行っています。講師には、京都大学大学院人間・環境学研究学科 教授 森谷敏夫先生が「肥満とダイエットを科学する。～糖質制限ダイエットに気をつけろ！～」と題し、高血圧、糖尿

病、脂質異常などの生活習慣病の主な原因、肥満についてご講演されました。肥満の予防・改善には、食事制限や運動を行いますが、誤った方法で行うと予防や改善に繋がらない事を講演され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、講演後にはウォーキングインストラクションを行い、参加された皆様で生活習慣病予防に効果的な歩き方について学びました。

当院のまつなみリサーチパーク・リハビリステーションスタッフも参加し地域住民の皆様と講演会を通じて交流ができました。今後も地域の皆様の健康を守るために様々な活動を行ってまいります。